

五月例会御案内 (平成二十九年・通算第三六四回)

時代を刷新する会

○御案内

五月二十二日(月)正午～午後二時半 参議院議員会館 地下一階・B-10八会議室

議題 どうなる米中関係! どうする習近平! 講師 宮崎正弘先生(国際関係評論家、特に古くから中国ウオッチャーとして著名)

◎ さて、米中関係が緊張しております。それは同時に、日本にとっては緊迫した事態であります。ことの次第は、北朝鮮が以前から核実験を繰り返して、またミサイル技術を上昇させて発射実験を繰り返してきたこと、核開発・大陸間弾道ミサイルの発展してきた中国も年々、軍事力を増強し、すでに核開発・大陸間弾道ミサイルの実験も終わり、その強大なる軍事力で、わが国の尖閣諸島へも、長年圧力をかけ、さらには、多くの国にとってシレーンたる南シナ海の領有を宣言し、その中の珊瑚礁、小島などを埋め立てて巨大な軍事基地を建設するなど、世界の脅威になっております。先般、中国の習近平主席が、アメリカを訪問し、米中会談の最中、トランプ大統領が、北朝鮮の同盟国シリアの過激派政権の航空基地に、極めて強力な巡航ミサイルを打ち込み、また、中国の習近平主席に、その影響下にある北朝鮮の挑発行動を抑えるよう迫りました。そうした事態の中で、今回は、評論家の宮崎正弘先生に御講話・御解説をいただきます。奮っての御参加を!

□ 当日会費 会員四千元、非会員五千元 ▽五月十八日(木)までに欠の御連絡賜りたく(清原記)

時代を刷新する会 当日連絡先 080-8836-6203 重田

五月二十二日(月)の月例会に 080-9292-2620 高津

(通話のみ)

出席 欠席 (いずれかに○印を) <http://www.jidaisassin.jp>

電話 03-3272-4320

FAX 03-3507-8587

御芳名

貴方様のFAX

メール

○御報告

このところ、日本に最も近い朝鮮半島情勢が心配です。すなわち、北朝鮮は、金正恩が、まず独裁体制を強め、核実験を行い、日本近海にミサイルを何発も打ち込み、日本の米軍基地を攻撃する、と挑発してきております。また、韓国は、朴槿恵氏が、収賄罪をはじめ十三もの容疑で、大統領を解任され、近く新しい大統領を選挙する事態となっており、西岡力麗澤大学客員教授・拉致家族を救う会会長に、「朝鮮半島は、これからどうなっていくのか!」と題して、御講話いただきました。

西岡先生の御講話は広範にわたりましたが、その要旨は、まず北朝鮮は、金日成以来、正日、正恩と目標は朝鮮半島の赤化統一である。そのためには朝鮮戦争で敗れた米国に対抗できる武力を保有するとして、核・ミサイル開発を進めている。また韓国国内での親北勢力工作があり、それが着々と進んでいる。金正恩は、中国が兄の金正男を自分で代えるのではないかと疑い、正男をマレーシア空港で暗殺した。党の39号室を中心に電子操作で世界から違法な金を集めている。また、韓国については、朴槿恵の弾劾・解任は、本来憲法違反の場合だが、朴槿恵自身は金を受け取っていないので厳し過ぎる。大統領選で文在寅氏が当選すると、彼は極左・反日の盧武鉉が大統領の腹心だっただけに、慰安婦問題も困ったものだ。韓国のその自虐史観の反面として民族主義が高まってきており、慰安婦問題も困ったものだ。等々の話があり、質疑応答も盛んだった。

(清原記)

▽「時代を刷新する会」とは、

「何事も人類・国民のためになることには、時代を先取りして、積極的に取り組もう」との趣旨で、昭和五十六年、岸信介元総理によって創設されたシンクタンクです。晩年の岸元総理がそうであったように超党派・超派閥で、真に国を憂える有志により構成されています。第二代会長は、木村睦男元参議院議長、第三代会長が櫻内義雄元衆議院議長。第四代・塩川正二郎元文部大臣は、九十歳を機に辞任。第五代会長代行として江口一雄元衆議院議員。その後、平成二十七年四月から、第六代会長代行として、岸信夫衆議院議員・外務副大臣が就任しております。岸信夫衆議院議員は、当団体の創立者・岸信介元総理の直系の孫に当たります。

▽事務局電話(03)3272-4320

専務理事・清原淳平、総務 重田典子、高津優介